

● 土木学会論文報告集編集方針 (1982年4月1日) ●

土木学会論文集編集委員会は、下記のような方針で『土木学会論文報告集』を編集します。ご投稿いただく場合には、この編集方針を十分ご理解のうえ、別に定める「土木学会論文報告集投稿要項」、「土木学会論文報告集投稿の手引」によって原稿を作成して下さい。

編集方針

- (1) わが国の土木工学の学問・技術の中心的な発表機関として機能する論文報告集とすることを旨とする。このため独創的で水準が高く、学問・技術の進歩にとって有用な論文・報告を掲載していく。
- (2) 会員の幅広い要望に応え、広汎な支持を受ける論文報告集とすることを旨とする。このため学術研究論文ばかりではなく、実用性の面で土木技術に寄与する論文・報告をも歓迎する。
- (3) わが国における土木工学の研究・技術の成果を広く海外にも知らせることのできる、国際的な論文報告集とすることを旨とする。このため英文論文の投稿を歓迎する。
- (4) 招待論文制度を設け、高い水準にある学術研究やその動向、最先端の土木技術を体系立ててわかりやすく紹介し、会員の活動に寄与していく。

● 討議について ●

この論文報告集に掲載された論文に対する討議はすべて土木学会論文集編集委員会あてとし、その締切期日は昭和58年4月20日とする。/All communications and discussion (open until April 20, 1983) relating to the papers included in the Proceeding should be addressed to the Editorial Committee on Technical Publications, Yotsuya 1-chome, Shinjuku-ku, Tokyo, 160 Japan

土木学会論文集編集委員 (◎印 主査 ○印 幹事)

委員長	小林 一 輔	副委員長	首藤 伸 夫	幹事長	森 地 茂		
委員	阿部 忠 行	委員	金井 道 夫	委員	佐藤 忠 信	委員	林 正 一
〃	赤石 勝 蔵	〃	神山 英 二	〃	佐藤 泰 生	〃	樋上 秀 寛
〃	芦沢 哲 尚	〃	川上 英 二	〃	椎葉 充 晴	〃	福田 寛 均
〃	足立 紀 尚	〃	川口 直 能	〃	嶋田 峻 乃	〃	田田 陳 紀
〃	飯田 駿 介	〃	河島 正 治	〃	嶋田 峻 乃	〃	増田 茂 樹
〃	池田 尚 治	〃	北田 俊 行	〃	◎首藤 伸 夫	〃	松浦 康 訓
〃	◎池田 尚 治	〃	清宮 理 也	〃	白須 孝 吾	〃	松岡 千 証
〃	石井 武 美	〃	楠田 信 雄	〃	砂田 憲 博	〃	○明神 和 男
〃	○石川 信 隆	〃	黒田 勝 彦	〃	関口 秀 雄	〃	村上 利 治
〃	石橋 忠 健	〃	◎河野 伊 一	〃	谷口 健 男	〃	村田 八 洲
〃	今本 博 健	〃	古財 武 久	〃	田村 幸 久	〃	安山 進 一
〃	○岩崎 征 人	〃	小栗竹 重 機	〃	○徳江 俊 秀	〃	山形 耕 太郎
〃	上島 照 幸	〃	◎小林 晋 爾	〃	富田 六 郎	〃	山田 幸 彦
〃	牛尾 俊 介	〃	小林 和 男	〃	中村 正 嗣	〃	山本 幸 彦
〃	梅本 和 彦	〃	小森 和 男	〃	野池 達 也	〃	山本 幸 彦
〃	江頭 真 一郎	〃	小柳 武 和	〃	長谷川 和 義	〃	吉田 博 彦
〃	大垣 俊 昭	〃	後藤 芳 親	〃	長谷川 元 信	〃	依田 照 彦
〃	太田 俊 厚	〃	齊藤 憲 次	〃	長谷部 正 彦	〃	渡辺 晃
〃	岡本 信 英	〃	阪井 孝 孝	〃	早川 典 生		

土木学会論文報告集 No. 326

定価 1250 円

昭和57年10月15日 印刷

昭和57年10月20日 発行

発行者 東京都新宿区四谷1丁目無番地

社団法人 土木学会 専務理事 川越 達雄

発行所 社団法人 土木学会 郵便番号 160 東京都新宿区四谷1丁目無番地 振替東京 6-16828 番 電話 (03)355-3441

正 誤 表

「溶接継手の疲労寿命に与える隅肉溶接止端形状の影響」(報告)

著者：田垣徳幸・近藤明雅・山田健太郎・菊池洋一

(土木学会論文報告集 第324号, pp. 151~159, 1982年8月)

ページ, 欄, 行	誤	正
p. 154, 式 (3)	$f(\theta) = \frac{[1 - \exp\{-0.9(B/l)^{1/2} \cdot \theta\}]}{[1 - \exp\{-0.45(B/l) \cdot \pi\}]}$	$f(\theta) = \frac{[1 - \exp\{-0.9(B/l)^{1/2} \cdot \theta\}]}{[1 - \exp\{-0.45(B/l)^{1/2} \cdot \pi\}]}$

【土木学会事務局の電話番号案内】

土木学会事務局の電話番号は次のとおりです。本部事務局および土木図書館は、国電、地下鉄とも四ッ谷駅の近く外濠公園の中にございます(駅から徒歩3~4分)。

① 土木学会本部事務局 03-355-3441 番(代表)

専務理事 内線 20

事務局長 内線 30

総務課 内線 31, 32 編集課 内線 21~24

会員課 内線 29, 33, 34 事業課 内線 25~28

経理課 内線 36, 37

図書頒布係 内線 38, 39

土木図書館 内線 40

② 支部事務局

北海道支部 011-251-7038 番, 261-7742 番

東北支部 0222-22-8509 番

関東支部 03-355-3441 番, 内線 31

中部支部 052-231-3043 番

関西支部 06-271-6686 番

中国支部 082-221-2666 番

西部支部 092-711-9392 番

● 土木学会(本部)事務局の休日について

土木学会 ●

土木学会本部事務局は、昭和51年9月から第1土曜日、54年4月から第3土曜日が休日化され、現在第1、第3土曜日を休業扱いにさせていただきます。

ご案内がゆき届かず、何かとご迷惑をおかけしておりますが、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

なお、他の通常の土曜日は、13時30分まで業務を行っております(始業は9時)。

また、土木図書館も同様に第1、第3土曜日は休館となりますが、他の通常の土曜日は、11時30分まで閉館しておりますことを付記します。

# 新刊案内

## 美しい橋の デザインマニュアル

A 4判 226頁

定価：5000円

会員特価：4500円

送料：400円

「美しさ」とは？、これはなかなかむずかしい問題である。美しさは、人間が個々の目で見、時には耳で聞き、そして他人に強要されることなく心に感じるものではないだろうか。

自然の中に見い出される美しさ、人工的に創られた美術作品、工芸品、また技術的な機械、各種構造物の中に見出す美しさも、美しさにはないのである。

本書は、土木構造物のうちでも一般の人々に広く共用され、観賞されている「橋」を取上げ、「美しい橋」とは何かを命題として、Ⅰ．景観の中の橋、Ⅱ．橋の形態、Ⅲ．橋の色彩とテクスチャ、Ⅳ．橋を対象とした景観図の作成手法、Ⅴ．文献資料の5章に分け、単に機能的、経済的な面だけの追求にとどまらず、トータルの観賞対象としての「美しさ」とは何かを、各章ごとに「美しさ」の要因に関係するであろう項目を抽出して説明を加え、橋梁設計上の一助としたものである。

## トンネルライブラリー 第1号 開削トンネル指針 にもとづいた開削 トンネル設計計算例

B 5判 120頁

定価：2000円

会員特価：1800円

送料：300円

8月上旬発売予定

本書は、先に刊行(昭和52年制定)された「開削トンネル指針」にもとづいて、地下鉄道開削トンネルとして最も標準的な条件に構築される構築物の横断面の設計計算例を紹介したものである。

「第1編 地下鉄道開削トンネル1層2径間ラーメン設計計算例」、  
「第2編 地下鉄道開削トンネル駅部3層3径間ラーメン設計計算例」

の2編からなり、また、その考え方の基本となる資料編を設けている。「第1編」は、標準的な条件での設計例を紹介し、実際の設計において問題となる点についても詳述している。「第2編」は、駅部の横断面の設計計算例を紹介している。特に駅部の場合、断面、掘削深、構造の複雑化等に伴い種々の問題を含んでおり、「第1編」、「第2編」とも、実際の設計に際して生じる問題点を「資料編」を設け補足説明を行い、本書をより使いやすいものにしていく。

## 近代土木技術 の黎明期

—— 日本土木史研究委員会  
シンポジウム記録集 ——

B 5判 288頁

定価：3800円

会員特価：3400円

送料：350円

本書は、日本土木史研究委員会が主催した6回にわたるシンポジウムの予稿集を主体として編集したものである。

明治黎明期に、わが国の土木の礎を築いた代表的指導者の業績や先人の事業を通して、近代土木技術がどのように形成されてきたか、その背景と評価を探ろうとしたシンポジウムの各予稿集を「人物編」、「事業編」、「資料・小研究編」の3部構成に再編し、人物編では井上 勝・古市公威・沖野忠雄・田辺朔郎・廣井 勇の5名を、事業編では明治の鉄道と琵琶湖疏水を取上げ、資料・小研究編では膨大な鉄道関係資料はじめ10の小論より成っている。

本書は、過去の社会における先人の人間行動の原理を理解し、現状の正しい認識を得、将来の予測が可能となる土木史学への理解を深める好書である。

## 第2回 日本土木史研究発表会論文集

B 5判・198頁・定価：3000円・送料：300円

## 第18回(1982年)水工学に関する夏期研修会講義集

Aコース B 5判・145頁・定価：3300円・送料：350円

Bコース B 5判・165頁・定価：3800円・送料：350円

8月中旬発売予定

ご注文は 社団法人 土木学会 刊行物販売係 〒160 東京都新宿区四谷1丁目無番地

☎ 03(355)3441 内線38, 39 郵便振替 東京6—16828 会員の方は必ず会員番号をお書き下さい